

大山

大山は中国地方の最高峰で、標高は 1,729m あります。1936 年 2 月、火山の眺望の素晴らしいことが理由となり、大山とその周囲の地域が国立公園になりました。大山はかつて活火山で、100 万年前から 2 万年前まで続いた火山活動によって現在の姿になりました。大山の北西部には、船上山のカルデラ壁を含む、初期の火山活動によって形成された地形があります。その後の火山活動により、弥山などの溶岩ドームの山ができました。これらの地史学的時代の間には、さらに火山活動があり、時が流れ、その他の重要な景観ができあがりました。大山の裾野にある柵水高原や鏡ヶ成、高い山々の急峻な斜面などの景観です。西側から見ると、大山の形は富士山に似ているところから、伯耆富士（伯耆とは鳥取県西部の昔の名称）や出雲富士などとも呼ばれてきました。しかし、北側や南側から見ると、岩がゴツゴツした山肌は、富士山のなめらかでシンメトリーな姿とは似ていません。

大山の自然

大山の中央斜面は、西日本で最大級のブナ（櫟）の森です。また、イチイの木のコロニーが頂上近くにありま。大山には、多くの鳥や昆虫が生息しています。また、大山にのみ自生する高山植物のダイセンアシボスゲなど珍しい植物もあります。柵水高原は標高 700～800m に位置しており、春から秋にかけては 多くの種類の花や蝶を見られます。